

- ★ 草丈・茎数は平年並み～やや多い！
- ★ 茎数が多い場合は早めの中干しを！

## 1 君津地域の生育概況

3月下旬は気温が低く推移し、初期に育苗した苗は生育が遅れた一方、4月以降は気温が高く推移し生育が急激に進行しました。そのため、4月中旬以降に移植した苗はやや徒長傾向となっております。

4月下旬は日照時間が著しく低下したものの、5月以降、気温は平年並み～やや高め、日照時間は平年並みに推移したことから、移植後の苗の生育は順調に進み、草丈は高く、茎数は平年並み～やや多い傾向にあります。

平年に比べ生育が進みやすい気候となっておりますので、茎数に注意しつつ、有効茎数が確保されたら分けつ過剰になる前に中干しを開始しましょう。

## 2 生育調査ほの調査結果※（5月20日）

品種		田植え日	葉令 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/㎡)
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	R6年	4/21	6.7	29.0	11.3	179
	平年値	4/19	7.0	27.0	12.0	187
	平年比	+2	-0.3	107%	94%	96%
ふさこがね (木更津市)	R6年	4/20	6.9	27.8	6.1	93
	平年値	4/19	6.2	23.7	5.3	102
	平年比	+1	+0.7	117%	115%	91%
コシヒカリ (君津市)	R6年	4/23	6.1	29.0	11.5	175
	平年値	4/25	5.4	28.9	8.9	139
	平年比	-2	+0.7	100%	129%	126%
粒すけ (君津市)	R6年	4/30	4.7	28.0	6.9	96
	平年値	5/3	5.2	22.5	6.0	97
	平年比	-3	-0.5	124%	115%	99%

※平年値について、粒すけ、コシヒカリは令和2～5年の平均、ふさおとめは令和3～5年の平均です。ふさこがねは今年度より調査地点を変更しているため、参考値となります。

※調査地点の植付密度の違いから、株当たり茎数と面積当たり茎数の間で平年値との関係が異なる場合がございます。面積当たり茎数を優先して参照ください。

-郵便で配信している方へお願い-

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切替えを進めています。変更いただける方は、下記まで御連絡ください。

連絡先 富澤（とみさわ） [k.tmsw3@pref.chiba.lg.jp](mailto:k.tmsw3@pref.chiba.lg.jp) 0438-23-0299（電話）

### 3 これからの管理のポイント

#### ① ほ場ごとに茎数を確認し、中干しの適期実施

今年は、天気の良い日が多く、茎数は平年並み～多いほ場が多いです。茎数が確保されたら、根の生育を促すため、また過繁茂を防ぐため中干しを開始しましょう。表1に示されている目標茎数に到達したら、中干し開始の目安となります。中干しは、稲の生育に大きな影響を及ぼし、かつ生育制御ができる重要な管理作業です。中干しの強さは、田面に軽い亀裂が入り、田面を歩いて長靴が沈まないくらいを目安とします。

表1 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup>	310本/m <sup>2</sup>	300本/m <sup>2</sup>
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)
粒すけ	4月20日	472本/m <sup>2</sup> (26本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)	

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※ 極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります

#### ② ばか苗病の発生・対策について

「ばか苗病」が種子生産ほ場やその周辺ほ場で発生すると、種子として出荷できなくなります。千葉県内の種子生産ほ場の半分以上は君津地域に存在しています。県産優良種子の安定生産のためにも、「ばか苗病」を本田で確認した際には、抜き取ってほ場から離れたところで処分し、新たな感染源とならないよう御協力をお願いします。

#### ③ 病害虫の発生に注意！

農林総合研究センター作成の病害虫発生予報第2号(5月17日公表)によると、イネドロオウムシ、スクミリンゴガイの発生量は「やや多」、いもち病、イネミスゾウムシは「並」の予報となっています。

ここ数年、いもち病の被害が多くなっています。今後、いもち病の発生を防ぐため、補植用の置き苗は早めに処分しましょう。

#### ④ (三島ダムの水位低下による濁水への対策として) 節水への御理解と御協力を！

今年5月の降水量はやや多い状況ですが、今後の梅雨の降雨状況によっては濁水となる可能性があります。かけ流し防止や漏水防止による節水への御協力を今後お願いします。

※ 次号は「6月10日頃」発行予定